

11月27日(金)

8 : 30

開場&受付

<講演会場 (コラボ・ステーション I 2F 視聴覚ホール)>

9 : 20 - 9 : 30

開会式

開会挨拶

大会会長 續 輝久 (九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野)

9 : 30 - 10 : 30

一般講演1

発表7分討論3分

座長：八木 孝司 (大阪府立大学)

中津 可道 (九州大学)

演題番号 開始時間

0-01 9:30
(P-099)

MUTYHによる塩基除去修復過程に依存して誘導される細胞死はp53の
発がん抑制機構の1つとして機能する

岡素雅子、フリオ・レオン、土本大介、作見邦彦、中別府雄作

九州大学 生体防御医学研究所 脳機能制御学分野

0-02 9:40
(P-025)

ヒト大腸癌ゲノムにおける遺伝子変異の出自

織田信弥

国立病院機構九州がんセンター 臨床研究センター腫瘍遺伝学研究室

0-03 9:50
(P-101)

マウス正常上皮細胞の3次元培養法を用いるin vitro発がんモデルの開発
落合雅子¹、中釜齊²

¹国立研究開発法人 国立がん研究センター研究所・基盤的臨床開発研究コアセンター (FIOC)・
動物実験部門、

²国立研究開発法人 国立がん研究センター研究所

0-04 10:00
(P-001)

CRISPR/Cas9法によるDNAポリメラーゼ η 、 κ およびヌクレオチド除去
修復を欠損する細胞の作製と芳香族炭化水素誘発突然変異の解析

福本航太¹、川西優喜¹、高村岳樹²、八木孝司¹

¹大阪府立大学 大学院理学系研究科、²神奈川工大 応用化学科

0-05 10:10
(P-005)

ヌクレオチド除去修復は酸化的クラスターDNA損傷によって誘発される
突然変異を抑制する

佐々彰、鴨下渚、兼丸祐紀、本間正充、安井学

国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部

0-06 10:20
(P-021)

酵母をプラットフォームとしたエピジェネティック変異原検出系構築の
試み

杉山圭一、古沢博子、本間正充

国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部

10 : 30 - 12 : 00

ワークショップ1

環境汚染物質の検出とリスク評価 ー過去から未来へー

座長：鈴木 孝昌 (国立医薬品食品衛生研究所)

中島 大介 (国立環境研究所)

演題番号 開始時間

W1-1 10:30

メチル水銀による環境汚染と健康リスク評価

蜂谷 紀之

国立水俣病総合研究センター 環境・疫学研究部環境保健研究室

W1-2	10:48	無機ヒ素のエピジェネティック作用、変異原性、多世代・継世代影響 野原 恵子 ¹ 、鈴木 武博 ¹ 、岡村 和幸 ¹ 、内匠 正太 ² ¹ 国立環境研究所 環境健康研究センター、 ² 鹿児島女子短期大学 生活科学科
W1-3	11:06	環境汚染物質によるDNA損傷の新たな検出法の開発 高村 岳樹 神奈川工科大学 環境化学技術研究所
W1-4	11:24	複数の化学物質曝露による遺伝毒性 －核内受容体と薬物代謝酵素による毒性の修飾－ 椎崎 一宏 東洋大学 生命科学部
W1-5	11:42	誤った直線閾値なしモデルの頑迷な適用による膨大な人的、社会的、 経済的な損失 須藤 鎮世 就実大学

13 : 00 - 14 : 00

特別講演

演題番号	開始時間	座長：能美 健彦（国立医薬品食品衛生研究所）
PL	13:00	Ribonucleotides in DNA: Origins, Repair and Consequences Thomas A. Kunkel Genome Integrity and Structural Biology Laboratory, NIEHS, NIH, USA

14 : 00 - 15 : 00	＜ポスター会場（コラボ・ステーションⅡ 1F コミュニティラウンジ）＞
ポスター発表	コアタイム：奇数番号

15 : 00 - 16 : 00

総会・授賞式

16 : 00 - 16:40

受賞講演

座長：青木 康展（国立環境研究所）

平成 27 年度日本環境変異原学会 学会賞

AW	16:00	部位特異的損傷をゲノム中に導入したヒト細胞における突然変異誘発機構の研究 本間 正充 国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部
-----------	--------------	---

平成 27 年度日本環境変異原学会 研究奨励賞

EA	16:25	コメットアッセイを用いた膀胱上皮細胞における遺伝毒性評価法の開発 和田 邦生 一般財団法人残留農薬研究所 毒性部
-----------	--------------	--

11月28日(土)

8 : 30

開場&受付

<講演会場 (コラボ・ステーション I 2F 視聴覚ホール)>

9 : 00 - 10 : 20

ワークショップ2 食品中に生成する物質の遺伝毒性評価

座長：下位 香代子（静岡県立大学）
森田 健（国立医薬品食品衛生研究所）

演題番号 開始時間
W2-1 9:02

食肉等の加熱調理におけるグリシドール脂肪酸エステルの生成およびそのリスク評価

増田 修一
静岡県立大学 食品栄養科学部

W2-2 9:19

アクリルアミドの生殖細胞における変異原性の検討

増村 健一
国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部

W2-3 9:36

カラメル色素中の4-メチルイミダゾールのリスク評価

森田 健¹、畝山 智香子²

¹国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部、²国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

W2-4 9:53

食品の健康影響評価と遺伝毒性

山添 康
内閣府食品安全委員会

10 : 20 - 12 : 00

シンポジウム1 酸化ストレスによる生物影響

座長：中津 可道（九州大学）
布柴 達男（国際基督教大学）

演題番号 開始時間
S1-1 10:20

Introduction ～故きを訪ねて。。。～

布柴 達男
国際基督教大学

S1-2 10:30

8-ヒドロキシグアニンがヒト細胞で誘発する遠隔作用変異

紙谷 浩之
広島大学 大学院医歯薬保健学研究院

S1-3 10:47

環境化学物質によるフリーラジカルを介したシトシンのメチル化

河井 一明
産業医科大学 産業生態科学研究所 職業性腫瘍学

S1-4 11:04

メチルシトシンの酸化体におけるDNA障害

倉岡 功
大阪大学 大学院基礎工学研究科

S1-5 11:21

酸化RNA損傷を認識するヒトタンパク

早川 浩、石井 健士、関口 睦夫
福岡歯科大学

S1-6 11:38

酸化ストレス誘発マウス小腸発がん実験から見てきたこと

中津 可道
九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野

13 : 00 - 14 : 00

一般講演2

発表7分討論3分

座長：山田 雅巳（国立医薬品食品衛生研究所）
作見 邦彦（九州大学）

演題番号	開始時間	
0-07 (P-026)	13:00	フレームシフト型および塩基置換型突然変異を検出する部位特異的修飾 プラスミドの作製とヒト細胞における芳香族炭化水素付加体のTLS解析 <u>金山尚裕</u> ¹ 、藤川芳宏 ¹ 、川西優喜 ¹ 、高村岳樹 ² 、八木孝司 ¹ ¹ 大阪府立大学 大学院理学系研究科、 ² 神奈川工科大学 応用化学科
0-08 (P-090)	13:10	都市大気浮粒子抽出物がgpt deltaマウス肺で示す変異原性と突然変異スペ クトル 榑木康展 ¹ 、中島大介 ¹ 、松本みちよ ¹ 、松本理 ¹ 、柳澤利枝 ² 、後藤純雄 ³ 、増村健一 ⁴ 、 能美健彦 ⁴ ¹ 国立環境研究所 環境リスク研究センター、 ² 国立環境研究所 環境健康研究センター、 ³ 麻布大学 生命・環境科学部、 ⁴ 国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部
0-09 (P-092)	13:20	小核誘発メカニズム解析法の検討: siRNAによるキナーゼ機能阻害 <u>武藤重治</u> 、加藤竜也、光井英晃、安藤雅光、清水俊敦、岩瀬裕美子、宇野芳文 田辺三菱製薬株式会社
0-10 (P-086)	13:30	禁煙による8-OHdG量の低減 <u>川崎祐也</u> 、李云善、渡邊晋太郎、葛西宏、河井一明 産業医科大学 産業生態科学研究所 職業性腫瘍学
0-11 (P-098)	13:40	LC/MS/MSを用いたDNA修復・損傷応答タンパク質及びヒストン修飾の 絶対定量 <u>松田俊</u> ¹ 、井倉正枝 ² 、古谷寛治 ² 、井倉毅 ² 、松田知成 ¹ ¹ 京都大学 大学院工学研究科 附属流域圏総合環境質研究センター、 ² 京都大学 放射線生物研究センター
0-12 (P-094)	13:50	SMRT DNAシーケンサーを用いた突然変異検出法の開発 <u>松田知成</u> ¹ 、松田俊 ¹ 、山田雅巳 ² ¹ 京都大学、 ² 国立医薬品食品衛生研究所

14 : 00 - 15 : 00	＜ポスター会場（コラボ・ステーションⅡ 1F コミュニティラウンジ）＞
ポスター発表	コアタイム：偶数番号

15 : 20 - 17 : 00

シンポジウム2 望月喜多司記念賞シンポジウム

「ゲノム変異の生成と抑制—分子メカニズムからレギュラトリーサイエンスへ—」

座長：續 輝久（九州大学）
林 真（公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター）

演題番号	開始時間	
S2-1	15:30	DNA損傷の化学からヒトがん解明へ 葛西 宏 産業医科大学 職業性腫瘍学
S2-2	15:45	ゲノム解析およびDNA付加体の網羅的解析による発がん要因の探索 戸塚 ゆ加里 国立がん研究センター研究所 発がん・予防研究分野
S2-3	16:00	げっ歯類を用いた遺伝子突然変異試験法の開発 能美 健彦 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター

- S2-4** 16:15 インビボコメットアッセイの国際共同研究とOECDガイドライン
宇野 芳文
田辺三菱製薬株式会社 創薬本部安全性研究所
- S2-5** 16:30 遺伝毒性試験ガイドライン策定への貢献
本間 正充
国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部

17:00 -

閉会式

日本環境変異原学会第44回大会 市民公開講座

食の安全 – リスクをどう考えたら良いのか –

日 時：2015 年 11 月 28 日(土) 18:00 ～ 20:00

会 場：九州大学馬出（病院地区）キャンパス
コラボ・ステーション I 2F 視聴覚ホール

プログラム：挨拶・司会：續 輝久（九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野）

1. 我々はこれまでどれだけ危険な食品を食べてきたのだろうか？

-食品中に含まれる発がん物質の評価-

本間 正充
国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部

2. 基準値の根拠から考える水の安全

村上 道夫
福島県立医科大学 医学部 健康リスクコミュニケーション学講座

3. 基準値の根拠から考える食の安全

永井 孝志
国立研究開発法人農業環境技術研究所 有機化学物質研究領域

ポスターセッション

ポスター掲示・閲覧時間：11月27日(金) 12:00 - 11月28日(土) 15:00
ポスター発表：11月27日(金) 14:00 - 15:00 【コアタイム：奇数番号】
11月28日(土) 14:00 - 15:00 【コアタイム：偶数番号】

P-001 (0-04) CRISPR/Cas9法によるDNAポリメラーゼ η 、 κ およびヌクレオチド除去修復を欠損する細胞の作製と芳香族炭化水素誘発突然変異の解析

福本航大¹、川西優喜¹、高村岳樹²、八木孝司¹

¹大阪府立大学 理学系研究科、²神奈川工大 応用化学科

P-002 PCNAとヒトDNAポリメラーゼ η の相互作用

増田雄司^{1,2}、金尾梨絵¹、益谷央豪¹

¹名古屋大学 環境医学研究所 ゲノム動態制御分野、²名古屋大学 大学院医学系研究科 トキシコゲノミクス

P-003 DNA polymerase kappaはin vivoにおいて、cisplatinに対する損傷乗越えDNA複製に関与する

本山茂記¹、竹入章¹、松尾沙織里¹、和田直子²、寺社下浩一²、三島雅之¹、新見直子³、Petr Gruz³、増村健一³、山田雅巳³、能美健彦⁴

¹中外製薬株式会社 研究本部、²中外医科学研究所、³国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部、

⁴国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター

P-004 TALENsを利用したメダカTLSポリメラーゼ遺伝子群変異体の網羅的作製

藤川芳宏¹、藤原(石川)智子¹、佐久間哲史²、山本卓²、藤堂剛¹

¹大阪大学 大学院医学系研究科、²広島大学 大学院理学研究科

P-005 (0-05) ヌクレオチド除去修復は酸化的クラスターDNA損傷によって誘発される突然変異を抑制する

佐々彰、鴨下渚、兼丸祐紀、本間正充、安井学

国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部

P-006 水中放電プラズマによって生じるDNA損傷とその変異原性

寺東宏明¹、工藤健一²、伊藤博徳³、猪原哲³

¹佐賀大学 総合分析実験センター、²岡山大学 自然生命科学研究支援センター、

³佐賀大学 大学院工学系研究科

P-007 オキサゾロン連続配列がDNA合成に与える影響

鈴木雅代^{1,2}、川田大周¹、大吉崇文³、小林隆信¹、宮澤宏¹、喜納克仁¹

¹徳島文理大学 香川薬学部 分子生物学講座、²日本学術振興会特別研究員、³静岡大学 理学部化学科

P-008 アルキル化剤の変異誘発におけるミスマッチ修復の関与

根岸友恵¹、井村文香¹、平健太郎¹、森恵美子¹、中野浩太¹、宮本敬子¹、山田健司¹、渡部慎司¹、有元佐賀恵¹、根岸和雄²

¹岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 (薬学系)、²日本薬科大学

P-009 ヒトエンドヌクレアーゼVの機能的解析

KIM JUNGIN、岩井成憲、倉岡功

大阪大学 大学院基礎工学研究科

P-010 DT40ノックアウト細胞パネルを用いたグルコース枯渇下で細胞致死作用を持つBiguanide 2種の作用機序の解析

角田圭¹、森脇隆仁¹、津田雅貴²、笹沼博之²、武田俊一²、増永慎一郎¹、田野恵三¹

¹京都大学 原子炉実験所 放射線生命科学部、²京都大学 大学院医学研究科放射線遺伝学

- P-011** XRCC4欠損性遺伝性疾患の病態解析
 中沢由華^{1,2}、荻朋男^{1,2}、郭朝万²、嶋田繭子¹、賈楠²
¹長崎大学 NRGIC/原爆後障害医療研究所（原研修復）、²名古屋大学 環境医学研究所 発生遺伝分野
- P-012** ファンコニ貧血経路におけるユビキチン様タンパク質UBL5の役割
 岡泰由^{1,2}、荻朋男¹、ベッカージェンセン・シモン²、メイランド・ニールズ²
¹名古屋大学 環境医学研究所 発生遺伝分野、
²コペンハーゲン大学 ノボノルディスク基盤タンパク質研究所 ユビキチンシグナリンググループ
- P-013** 電離放射線への子ども被ばく後のマウスにおけるgpt遺伝子での変異の解析
 神代紗央理¹、佐川佳穂¹、中山貴文^{1,2}、奕尚²、鶴岡千鶴²、谷修祐²、砂押正章²、森岡孝満²、
 Blyth Benjamin J²、島田義也²、柿沼志津子²、立花章¹
¹茨城大学 大学院理工学研究科、²放射線医学総合研究所
- P-014** タバコ副流煙暴露による紫外線DNA損傷修復の遅延とアルデヒド類の関連性
 楊光、伊吹裕子
 静岡県立大学 薬食生命科学総合学府 環境生命科学専攻
- P-015** Human EEPD1の細胞内局在の解析
 黒田真未、岩井成憲、倉岡功、岡田賢治
 大阪大学 大学院基礎工学研究科
- P-016** 熱ストレスによるヒストンH2AXのリン酸化とその機構
 荻野真宏¹、豊岡達士²、伊吹裕子¹
¹静岡県立大学 大学院薬食生命科学総合学府 環境科学専攻、²(独) 労働安全衛生総合研究所
- P-017** ヒトリンパ球細胞のゲノムに導入したシトシン修飾体の潜在的な突然変異誘発能
 佐々彰、鴨下渚、兼丸祐紀、本間正充、安井学
 国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部
- P-018** 高度好熱菌の脱アミノ化ヌクレオチド浄化酵素Ham1の機能とゲノム安定化における役割
 西村美起¹、森本絵美子²、平津圭一郎³、米良花香²、布柴達男^{1,2}
¹国際基督教大学 大学院アーツ・サイエンス研究科、²国際基督教大学 教養学部、³防衛大学校 応用科学群
- P-019** 高度好熱菌Thermus thermophilusのゲノム安定性におけるGOシステムの役割
 小野坂規賀子¹、宮下久枝¹、西村美起²、平津圭一郎³、布柴達男^{1,2}
¹国際基督教大学 教養学部アーツ・サイエンス学科、²国際基督教大学 大学院アーツ・サイエンス研究科、
³防衛大学校 応用化学群
- P-020** MUTYH欠損マウスを用いた酸化ストレス誘発消化管がんと体細胞突然変異の解析
 鷹野典子¹、大野みずき¹、佐々木史子¹、中別府雄作²、日高京子^{1,3}、中津可道¹、續輝久¹
¹九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野、²九州大学 生体防御医学研究所 脳機能制御学分野、
³北九州市立大学 基盤教育センター
- P-021** 酵母をプラットフォームとしたエピジェネティック変異原検出系構築の試み
 (0-06) 杉山圭一、古沢博子、本間正充
 国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部
- P-022** Fosb発現とDNAメチル化変化の対応関係を検討する実験系の探索
 鈴木武博、岡村和幸、野原恵子
 国立環境研究所 環境健康研究センター
- P-023** ヒトエストロゲンレセプターアルファ遺伝子のメチル化修飾と骨代謝との関係について
 太場謙一、太田久吉
 北里大学 医療衛生学部 健康科学科

- P-024** DNA損傷依存的および非依存的なアルデヒドの細胞毒性発現機構
中野敏彰¹、謝明章¹、合田美月¹、ショルカミー・マハムド^{1,2}、サレム・アミール^{1,3}、井出博¹
¹広島大学 理学研究科、²ミニア大学・理・動物、³エジプト国立研・医学研究・病理
- P-025** ヒト大腸癌ゲノムにおける遺伝子変異の出自
(0-02) 織田信弥
国立病院機構九州がんセンター 臨床研究センター腫瘍遺伝学研究室
- P-026** フレームシフト型および塩基置換型突然変異を検出する部位特異的修飾プラスミドの
(0-07) 作製とヒト細胞における芳香族炭化水素付加体のTLS解析
金山尚裕¹、藤川芳宏¹、川西優喜¹、高村岳樹²、八木孝司¹
¹大阪府立大学 大学院理学系研究科、²神奈川工科大学 応用化学科
- P-027** DNAアダクトミクスによる過酸化水素曝露後のPAH分解細菌細胞に生じるDNA付加体
の研究
福岡紀実子、カナリー・ロバート A
横浜市立大学 大学院・生命ナノシステム科学研究科 生命環境システム科学専攻
- P-028** ビグアニド系糖尿病治療薬による酸化的DNA損傷増強効果
大西志保¹、水谷秀樹²、川西正祐¹
¹鈴鹿医療科学大学 薬学部、²金城学院大学 薬学部
- P-029** 注射薬中から検出された重合開始剤の光変異原性に関する研究
高井真理子¹、河崎陽一²、谷本雄亮¹、江角悟²、有元佐賀恵¹、根岸友恵¹、北村佳久^{1,2}、千堂年昭^{1,2}
¹岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科、²岡山大学 病院薬剤部
- P-030** 化学物質の投与時刻が小核誘発頻度に及ぼす影響
下位香代子¹、伊藤圭一^{1,2}、益森勝志²、榊原啓之³、保田倫子¹
¹静岡県立大学 大学院薬食生命科学総合学府、²公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター、³宮崎大学 農学部
- P-031** 国内数地点で採取したPM2.5の変異原性
金佑香¹、柳下真由子²、熊谷貴美代³、池盛文数⁴、大原俊彦⁵、木下誠⁶、西村和之⁷、杉田和俊¹、
高木敬彦¹、中島大介²
¹麻布大学、²国立研究開発法人 国立環境研究所、³群馬県衛生環境研究所、⁴名古屋市環境科学調査センター、
⁵広島県保健環境センター、⁶福岡市保健環境研究所、⁷県立広島大学
- P-032** 培養細胞を用いる染色体異常試験における回復時間の影響について（パート5）
関博、祖父尼俊雄、奈良部安
株式会社ビー・エム・エル 第二検査部 安全性試験課
- P-033** ω -Carboxyalkylnitrosamine類の変異原性発現
小池真悠理、渡辺舞、稲見圭子、望月正隆
東京理科大学 薬学部
- P-034** 遺伝毒性肝発がん物質エストラゴールの突然変異誘発性におけるフルメキン併用投与
の影響
石井雄二、高須伸二、木島綾希、横尾諭、土屋卓磨、小川久美子、梅村隆志
国立医薬品食品衛生研究所 病理部
- P-035** gpt deltaマウスを用いたdecabromodiphenyl etherのin vivo遺伝毒性の検討
高須伸二、石井雄二、木島綾希、横尾諭、土屋卓磨、小川久美子、梅村隆志
国立医薬品食品衛生研究所 病理部
- P-036** 肝酵素によるSafrol代謝の立体選択性とDNA損傷への影響
奥野祥治、浜中椋平、小田美光
和歌山工業高等専門学校 物質工学科

- P-037** 心臓発生に影響する遺伝毒性物質スクリーニングをめざした多能性幹細胞分化系の開発
日高京子^{1,2}、中津可道²、日高真純³、續輝久²
¹北九州市立大学 基盤教育センター、²九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野、
³福岡歯科大学 細胞分子生物学講座
- P-038** RNA合成阻害に基づいたin vitroにおけるDNA損傷検出法の構築
園原由依菜、岩井成憲、倉岡功
 大阪大学 大学院基礎工学研究科
- P-039** マウスm5SのS期可視化細胞を用いた変異原物質の作用時期と小核形成のライブセルイメージング解析
川喜多愛^{1,2}、村田香織^{1,2}、杉本憲治^{1,2}
¹大阪府立大学 大学院生命環境科学研究科、²ライブセルイメージング研究所
- P-040** ラット消化管小核試験系の構築：異数性誘発物質を用いた検証
岡田恵美子、藤石洋平、成見香瑞範、金子公幸、大山ワカ子
 (株)ヤクルト本社 中央研究所
- P-041** 都市圏及び非都市圏における表層土壌及び大気粉塵の変異原物質による汚染
繁多敬久¹、三宅佑美¹、金高こころ¹、米田眞希¹、和田光弘¹、関奈緒子¹、野村春菜¹、長谷井友尋¹、
池盛文数²、鳥羽陽³、早川和一³、大呂忠司⁴、渡辺徹志¹
¹京都薬科大学 薬学科、²名古屋市環科セ、³金沢大院薬、⁴鳥取県衛環研
- P-042** In vitro小核試験における画像解析装置及びフローサイトメーターの利用
橋本清弘、松本朱美、植松利栄子、中島由弥
 武田薬品工業株式会社 薬剤安全性研究所
- P-043** gpt deltaマウスの生殖細胞におけるアクリルアミド誘発突然変異の解析
萩尾宗一郎¹、阿部正義¹、林清吾¹、辻菜穂¹、黒田雄介¹、古川賢¹、八木孝司²、本間正充³、増村健一³
¹日産化学工業株式会社 安全性研究部、²大阪府立大学 大学院理学系研究科、
³国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部
- P-044** 染色体異常試験の陽性物質リストから有用な偽陽性原料を救えII-数学的手法を用いた大規模遡及評価-
本田大士¹、藤田侑里香¹、松村奨士¹、川本泰輔¹、伊藤勇一¹、森田健²、西山直宏¹
¹花王株式会社 安全性科学研究所、²国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部
- P-045** タバコ副流煙の変異原性に対する光照射の影響
市原英則、根岸友恵、有元佐賀恵
 岡山大学 薬学部
- P-046** 動物発がん物質 N,N-ジメチルホルムアミドとN,N-ジメチルアセトアミドのin vitro発がん
佐々木俊明、石岡千草、浅倉眞澄、福島昭治
 中央労働災害防止協会 日本バイオアッセイ研究センター 病理検査部 培養細胞試験室
- P-047** 常圧常温プラズマ（ARTP）と従来の突然変異によるDNA損傷と突然変異率の定量的評価
小田美光¹、Zhang Xue²、Zhang Chong²、Zhou Qian-Qian³、Zhang Xiao-Frei⁴、Wang Li-Yan²、
Chang Hai-Bo²、Li He-Ping³、Xing Xin-Hui²
¹大阪信愛女学院短期大学、²清華大学 化学工学科、³清華大学 無錫研究所、⁴清華大学 物理工学科
- P-048** 各種Ames試験法における揮発性化学物質のばく露濃度（気・液・固相分配）の実測検証
坪倉美文、島村悠、藤島沙織、鈴木克、小椋正造、宮浦英樹
 一般財団法人 化学物質評価研究機構 日田事業所 試験第三課

- P-049** 二酸化チタンナノ粒子を尾静脈投与したマウスにおける肝臓での遺伝毒性
 鈴木哲矢¹、三浦伸彦²、北條理恵子²、柳場由絵²、須田恵²、王瑞生²
¹広島大学 医歯薬保健学研究院 薬学分野、²労働安全衛生総合研究所 健康障害予防研究グループ
- P-050** アミノ酸含有物質のための改良Ames試験（Treat & Wash法）の検討Ⅲ
 川上久美子、根岸沙記、増渕恵美、園原啓太、須井哉
 一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所
- P-051** 大腸菌WP3101P～WP3106P株を用いたアミノ酸含有物質の変異原性評価
 根岸沙記、川上久美子、増渕恵美、園原啓太、須井哉
 一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所
- P-052** 酸クロライドの溶媒によるAmes試験結果への影響
 吉田しのぶ¹、須井哉²、川上久美子²、佐々木和実¹、小原裕子¹
¹独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター、²一般財団法人 食品薬品安全センター
- P-053** 成獣ラットを用いた単回投与によるコメットアッセイ及び免疫組織化学的検索
 辻菜穂、萩尾宗一郎、早川知里、黒田雄介、山岸由和、林清吾、阿部正義、古川賢
 日産化学工業株式会社 安全性研究部
- P-054** たばこ煙抽出物の遺伝毒性機序に関する基礎的検討－小核試験と遺伝子突然変異試験
 結果の類似性から－
 兼丸祐紀、沢本洋子、田中仁美、福島俊朗
 日本たばこ産業株式会社 R&Dグループ 製品評価センター
- P-055** デキストラン硫酸ナトリウムの大腸炎誘発モデルマウスを用いたヘテロサイクリック
 アミンによる大腸腫瘍誘発
 小山直己、関由紀、園田二郎、細川暁、中野今日子、朝倉省二、羽倉昌志
 エーザイ株式会社 筑波安全性研究部
- P-056** 職業性胆管癌の候補物質、ジクロロメタン及び1,2-ジクロロプロパンの変異原性に
 対するグルタチオン-S-転移酵素の影響
 秋場望^{1,2}、椎崎一宏^{1,3}、遠藤治²、三牧幸代⁴、土原一哉⁴、中釜斉¹、戸塚ゆ加里¹
¹国立がん研究センター研究所、²麻布大学、³東洋大学、⁴国立がん研究センター先端医療開発センター
- P-057** ベンゾピレン誘発in vitro小核試験におけるTK6細胞とCHL/IU細胞間の比較
 古熊俊治、山本祥太、藤井伸芳
 株式会社UBE科学分析センター
- P-058** リン酸化ヒストンH2AXを指標とした化学物質遺伝毒性評価手法構築に関する基礎的
 検討
 豊岡達士¹、伊吹裕子²、山口さち子¹、王瑞生¹
¹独立行政法人労働安全衛生総合研究所 健康障害予防研究部、²静岡県立大学
- P-059** 部分的化学構造（Organic Function Groups）を用いたin vitro CA/MN試験結果の予測
 藤田侑里香、本田大士、笠松俊夫、伊藤勇一、西山直宏
 花王株式会社 安全性科学研究所
- P-060** Clastogenが誘起するTK6、CHL/IU及びL5178Yの細胞核の肥大化
 武下健次
 株式会社UBE科学分析センター
- P-061** サルナシ（*A. arguta*）の酢抽出物による、ラット大腸がん前癌病変（ACF）誘発抑制
 有元佐賀恵¹、三宅直子²、多田美佐子²、根岸友恵¹
¹岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 薬学系、²岡山大学 薬学部

- P-062** 100%濃縮還元果汁抽出物の抗変異原性
佐々木蒼子、高木岬、関本征史、遠藤治
麻布大学 生命・環境科学部
- P-063** 茶中の3,6-Dinitrobenzo[e]pyreneの定量及び茶の抗変異原性
河合佑季
京都薬科大学 公衆衛生学分野
- P-064** NNK誘導マウス肺がんに対するサルナシ果汁の肺発がん抑制効果における比較プロテオミクス解析
北村祐貴¹、三宅直子²、有元佐賀恵³、村田真理子¹、及川伸二¹
¹三重大学 大学院医学系研究科、²岡山大学 薬学部、³岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科
- P-065** 出芽酵母突然変異系を用いたChrysanthemum morifolium花抽出物の抗変異原性効果の評価
山本歩¹、佐川史果¹、村重諒²、中村隆典²、佐々木有¹
¹八戸工業高等専門学校 産業システム工学科マテリアル・バイオ工学コース、²姫路獨協大学 薬学部
- P-066** セシウム137の慢性的経口摂取で多世代にわたり低線量・低線量率内部被ばくを続けた子孫マウスのゲノムへの影響
中島裕夫¹、福本学²、藤堂剛¹
¹大阪大学 大学院医学系研究科 放射線基礎医学、²東北大学 加齢医学研究所
- P-067** ミスマッチ修復欠損マウスにおける生殖細胞ゲノム変異の解析
大野みづき¹、鷹野典子¹、佐々木史子¹、日高京子^{1,2}、中津可道¹、續輝久¹
¹九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野、²北九州市立大学 基盤教育センター
- P-068** マウス全エキソーム解析によるENU誘発生殖細胞変異スペクトルの解析
増村健一¹、鵜飼明子¹、豊田尚美¹、権藤洋一²、能美健彦³、本間正充¹
¹国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部、²理化学研究所バイオリソースセンター、³国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター
- P-069** 生殖細胞自然突然変異の新規発生と変異アレルの伝達
作見邦彦¹、大野みづき²、古市正人³、續輝久²、中別府雄作¹
¹九州大学 生体防御医学研究所、²九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野、³九州大学 アイソトープ統合安全管理センター
- P-070** 発がん高感受性マウスを用いた化学発がん、放射線発がん機構の解明
笹谷めぐみ¹、本田浩章²、増田雄司^{3,4}、神谷研二¹
¹広島大学 原爆放射線医科学研究所 分子発がん制御、²広島大学 原爆放射線医科学研究所 疾患モデル、³名古屋大学 環境医学研究所 ゲノム動態制御、⁴名古屋大学 大学院医学系研究科 トキシコゲノミクス
- P-071** 食品中の新規ヘテロサイクリックアミンABAQの分析
長谷井友尋、北野祐香、廣本麻里、川久保慶一、河内麻由美、渡辺徹志
京都薬科大学 公衆衛生学分野
- P-072** *Pig-a*/PIGRETアッセイの短期試験としての有用性：MMS共同研究報告
堀端克良¹、山田雅巳¹、鵜飼明子¹、木本崇文²、千蔵さつき²、三浦大志郎²、伊東悟³、武藤重治⁴、宇野芳文⁴、真田尚和⁵、高島理恵⁶、志賀野美幸⁶、高沢博修⁶、濱田修一⁶、山本美佳⁷、堀妃佐子⁸、堤絵梨⁸、和田邦生⁹、前田晃央¹⁰、菊月隆太¹¹、荻原庸介¹¹、京谷恭弘¹²、足立秀樹¹³、上松泰明¹³、吉田唯真¹⁴、成見香瑞範¹⁵、藤石洋平¹⁵、福田隆之¹⁶、鈴木裕太¹⁶、後藤玄¹⁶、森田健¹、本間正充¹
¹国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部、²帝人ファーマ、³第一三共、⁴田辺三菱製薬、⁵科研製薬、⁶LSIメディエンス、⁷アステラス製薬、⁸サントリ、⁹残農研、¹⁰東レ、¹¹大正製薬、¹²クミアイ化学、¹³大日本住友製薬、¹⁴武田薬品工業、¹⁵ヤクルト本社、¹⁶ボゾリサーチセンター
- P-073** MMS/*Pig-a*アッセイ共同研究：Melamineの遺伝毒性評価
京谷恭弘、堀真美、寺田めぐみ
クミアイ化学工業株式会社 生物科学研究所

- P-074** Chlorambucilを用いたラット単回投与によるPig-a／PIGRETアッセイの有用性の検討
前田晃史、高橋圭、土山博美、大信田系裕
東レ株式会社 医薬研究所安全性研究室
- P-075** Pig-aアッセイ共同研究：アセトアミノフェン及びシスプラチン
鈴木裕太、後藤玄、中山祥大、更谷政俊、高田拓也、岡本武三、岡崎修三
株式会社ボゾリサーチセンター
- P-076** MMS/Pig-a共同研究：MNUおよびtemozolomideの変異原性評価
加藤竜也、武藤重治、山田勉也、安藤雅光、岩瀬裕美子、宇野芳文
田辺三菱製薬株式会社 安全性研究所
- P-077** RBC Pig-a assay及びPIGRET assay によるHydroxyurea 及びMelphalan のin vivo変異原性の評価
足立秀樹、上松泰明、山田徹、船橋斉
大日本住友製薬株式会社
- P-078** ウレタンのラット末梢血におけるPig-a遺伝子突然変異誘発性：MMS共同研究の個別報告
成見香瑞範、藤石洋平、岡田恵美子、金子公幸、大山ワカ子
ヤクルト本社 中央研究所
- P-079** ベンゾ[a]ピレンを用いたPig-aアッセイ及びPIGRETアッセイ：MMS共同研究の個別報告
菊月隆太、荻原庸介、渡邊久美子、藤原愛、高橋知子、佐藤遥、杉浦美穂子
大正製薬株式会社
- P-080** MMS/Pig-a共同研究：Pig-a及びPIGRETアッセイによるアザチオプリンのin vivo変異原性評価
吉田唯真、松本朱美、左海友美、原田裕美子、橋爪恒夫
武田薬品工業株式会社 医薬研究本部薬剤安全性研究所
- P-081** Pig-aおよびPIGRET assayによるエトポシドのin vivo 遺伝子突然変異試験
山本美佳、若田明裕
アステラス製薬株式会社 研究本部 安全性研究所
- P-082** PIGRET及びRBC pig-a法を用いたAAs及びAZTのin vivo変異原性評価
真田尚和、大隅友香、中村美智、小山直美、米澤豊
科研製薬株式会社 薬物動態・安全性部
- P-083** 2-acetylaminofluorene及び1,3-propane sultoneのPig-a/PIGRETアッセイによる評価：JEMS・MMS共同研究
志賀野美幸、石井奈々、高島理恵、原田英樹、伊勢記代子、服部亜樹子、高沢博修、濱田修一
株式会社LSIメディエンス
- P-084** Pig-a/PIGRETアッセイによるThiotepaのin vivo変異原性の検出
堤絵梨、百南綾華、堀妃佐子、北川義徳
サントリービジネスエキスパート株式会社 安全性科学センター
- P-085** Isopropyl p-toluenesulfonateのラットPig-aアッセイ－JEMS/MMS共同研究（Step 3）
千蔵さつき、木本崇文、岡田祐樹、岡田久美子、小林小梅、森嶋理絵、金子英志、三浦大志郎、笠原義典
帝人ファーマ株式会社 生物医学総合研究所 医薬開発研究所
- P-086** 禁煙による8-OHdG量の低減
(0-10) 川崎祐也、李云善、渡邊晋太郎、葛西宏、河井一明
産業医科大学 産業生態科学研究所 職業性腫瘍学

- P-087** ナノ粒子によるラット肺組織の酸化的DNA損傷
 李云堯¹、大津山祐子¹、川崎祐也¹、森本泰夫²、河井一明¹
¹産業医科大学 産業生態科学研究所 職業性腫瘍学、²産業医科大学 呼吸病態学
- P-088** In vitroおよびin vivo遺伝毒性試験の組合せによる齧歯類発がん物質の検出力
 森田健¹、濱田修一²、増村健一³、本間正充³
¹国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部、²LSIメディエンス（株）、
³国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部
- P-089** 喫煙による突然変異と発がんリスクの量的関係
 渡辺雅彦、阿藤寛明、末丸克矢
 就実大学 薬学部
- P-090** 都市大気浮粒子抽出物がgpt deltaマウス肺で示す変異原性と突然変異スペクトル
 (0-08) 青木康展¹、中島大介¹、松本みちよ¹、松本理¹、柳澤利枝²、後藤純雄³、増村健一⁴、能美健彦⁴
¹国立環境研究所 環境リスク研究センター、²国立環境研究所 環境健康研究センター、
³麻布大学 生命・環境科学部、⁴国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部
- P-091** ICHガイドラインS2（R1）におけるin vivo試験組合せの検討
 山田雅巳¹、大杉直弘²、高木久宜²、和田邦生³、松元郷六³、大隅友香⁴、真田尚和⁴、百南綾華⁵、
 堤絵梨⁵、堀妃佐子⁵、赤沼三恵⁶、増村健一¹、本間正充¹
¹国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部、²日本エスエルシー株式会社、³（一財）残留農薬研究所、
⁴科研製薬株式会社、⁵サントリービジネスエキスパート株式会社、⁶株式会社クレハ
- P-092** 小核誘発メカニズム解析法の検討: siRNAによるキナーゼ機能阻害
 (0-09) 武藤重治、加藤竜也、光井英晃、安藤雅光、清水俊敦、岩瀬裕美子、宇野芳文
 田辺三菱製薬株式会社
- P-093** ネヴァダに黒い雨は降らない：予測より強い放射線を浴びた被爆者はホルメシスを
 示し閾値なしを否定
 須藤鎮世
 就実大学 薬学部
- P-094** SMRT DNAシーケンサーを用いた突然変異検出法の開発
 (0-12) 松田知成¹、松田俊¹、山田雅巳²
¹京都大学、²国立医薬品食品衛生研究所
- P-095** 次世代シーケンサーを使った突然変異の直接検出
 鈴木孝昌¹、降旗千恵¹、スレッシュ・ティルパッティ¹、鶴飼明子²、山田雅巳²、本間正充²
¹国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部、²国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部
- P-096** 次世代シーケンサーによる全ゲノム解析を用いたヒト細胞のSNP探索とゲノム構造
 変化の解析
 降旗千恵¹、Suresh Thirupathi¹、本間正充²、鈴木孝昌¹
¹国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部、²国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部
- P-097** ハイ・スループット微生物遺伝毒性試験法の検討10
 須井哉¹、川上久美子¹、根岸沙記¹、増渕恵美¹、園原啓太¹、山田雅巳²
¹一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所 遺伝学研究室、²国立医薬品食品衛生研究所
- P-098** LC/MS/MSを用いたDNA修復・損傷応答タンパク質及びヒストン修飾の絶対定量
 (0-11) 松田俊¹、井倉正枝²、古谷寛治²、井倉毅²、松田知成¹
¹京都大学 大学院工学研究科 附属流域圏総合環境質研究センター、²京都大学 放射線生物研究センター
- P-099** MUTYHによる塩基除去修復過程に依存して誘導される細胞死はp53の発がん抑制機構
 (0-01) の1つとして機能する
 岡素雅子、フリオ・レオン、土本大介、作見邦彦、中別府雄作
 九州大学 生体防御医学研究所 脳機能制御学分野

- P-100** Trp53欠損マウスにおける酸化ストレス誘発消化管がんの解析
 李贊^{1,2}、大野みずさ¹、鷹野典子¹、佐々木史子¹、日高京子^{1,3}、中津可道¹、續輝久¹
¹九州大学 大学院医学研究院 基礎放射線医学分野、²九州大学 大学院医学系学府 医科学専攻、
³北九州市立大学 基盤教育センター
- P-101** マウス正常上皮細胞の3次元培養法を用いるin vitro発がんモデルの開発
 (0-03) 落合雅子¹、中釜齊²
¹国立研究開発法人 国立がん研究センター研究所・基盤的臨床開発研究コアセンター (FIOC)・動物実験部門、
²国立研究開発法人 国立がん研究センター研究所
- P-102** F344系gpt deltaラットの自然発生腫瘍スペクトラム
 松下幸平¹、木島綾希¹、石井雄二¹、高須伸二¹、黒田顕¹、能美健彦²、梅村隆志¹
¹国立医薬品食品衛生研究所 病理部、²医薬基盤研究所
- P-103** 銀ナノ粒子と紫外線の組み合わせによる酸化型DNA損傷の増加とヒストンH2AXのリン酸化
 趙曉旭¹、高林ふみ代²、伊吹裕子¹
¹静岡県立大学 大学院薬食生命科学総合学府、²静岡県立大学 看護学部看護学科